

「やさしい日本語」から、つながろう。

一人ひとりの人間として、「ともに暮らす仲間」として尊重し合おう。
その人の背景にある文化・言語・大事にしているものを、お互いに学ぼう。

外国籍住民比率が、都市部日本一の生野区から。
約4人に1人が外国籍のこのまちから。
約80カ国の国から集まるIKUNOから。

あなたの友だちに、今まで関わった大事な人に、外国の人がいればわかる。
その人を知り、つながったら、国や文化の違いも、個性のひとつとわかる。

在日韓国・朝鮮の人たちとともに
まちの経済や暮らしを支えてきた歴史が、このまちにある。
このまちには、すでに多文化共生に向けた得難い歴史の財産がある。

多様性の尊重は新しいエネルギーを生み出し、豊かなまちづくりにつながる。

近所で、学校で、職場で「いろんな国の人に出会える」まち。
世界につながる、生野区だから。
大阪中に、そして日本中に「やさしい日本語」をスタンダードにするための、
はじめての一步を届けたい。

「やさしい日本語で、話します」
「やさしい日本語で、話してください」

「どうぞよろしく、日本へようこそ。」
「あなたの話を、聞かせてください。」

生野発・世界行き。
「やさしい日本語」マークが、旅立ちます。

やさしい日本語って？

「やさしい日本語」は、コミュニケーションのための道具です。
「やさしい日本語」は、日本語があまり得意ではない人に、
わかりやすい言葉や表現に言い換えた日本語です。
「やさしい日本語」に正解はありません。
相手にあわせて、やさしい気持ちで
「やさしい日本語」を使ってみませんか。

「やさしい日本語」のポイント

- 1 ゆっくり話す
- 2 短く区切って話す
- 3 簡単な言葉に言い換える
- 4 カタカナ外来語はできるだけ使わない
- 5 具体的に伝える
- 6 方言をできるだけ使わない